

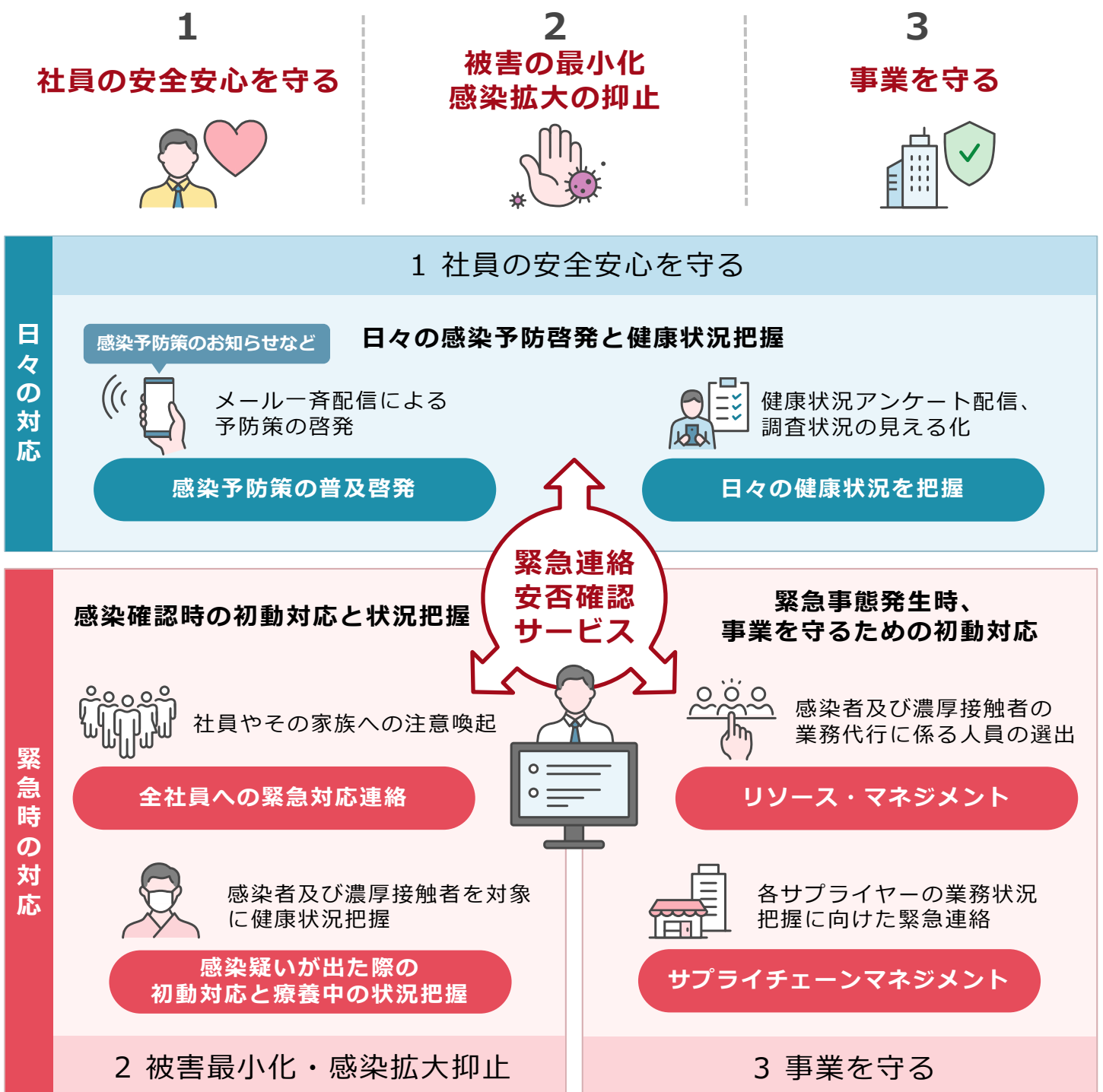
緊急連絡／安否確認サービス

非日常が常態化した今、企業がとるべき対策は？

突発・局所的に起こる自然災害に加え、パンデミック宣言により災害は常態化。

「緊急連絡／安否確認サービス」は、事業継続の観点から「社員の安全安心の確保、被害の最小化や感染拡大を抑制し、事業を守る」ことをサポートします。

新型コロナウイルス感染症対策は、3つの取り組みで解決



「社員や家族の安全安心」と「事業を守る」使い方

1. 社員の安全安心を守る

■ 感染予防策の普及啓発

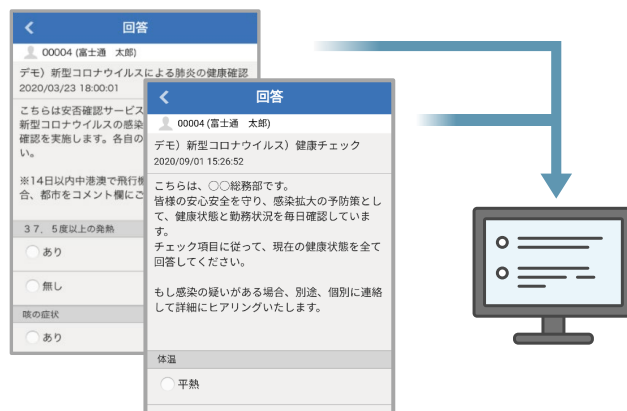
感染症に対する知識を高め、一人ひとりが感染症対策へ取り組めるように、予防策通知に活用できます。



出典：厚生労働省ホームページ

■ 日々の健康状況を把握

職員・従業員・学生などの健康状態や勤務場所など注意深く監視を行うことができ、感染症発生の兆候を常に監視できます。



2. 被害の最小化・感染拡大の抑止

■ 感染が疑われる方への個別連絡

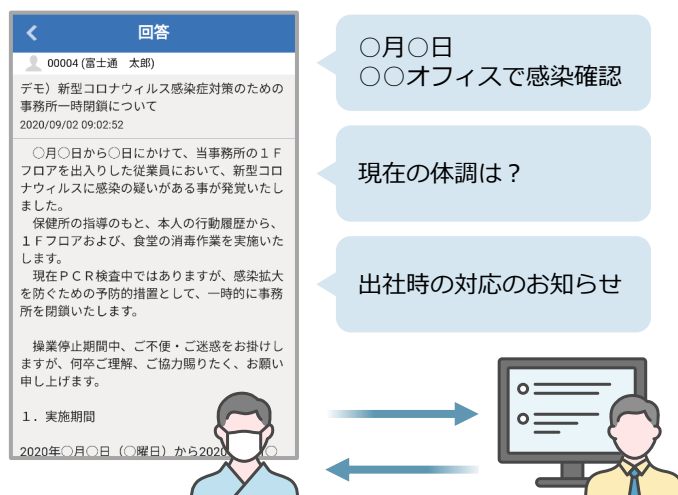
濃厚接触者等へメッセージを送り、検査等の指示が行えます。

■ 全社員への緊急時の対応連絡

全社員への感染発生情報の通知や注意喚起で、社員・家族の安全確保につなげます。

■ 感染者や濃厚接触者の状況把握と連絡

自宅待機する感染者や濃厚接触者の健康状態の把握と、管理者から入社可否の連絡が行えます。



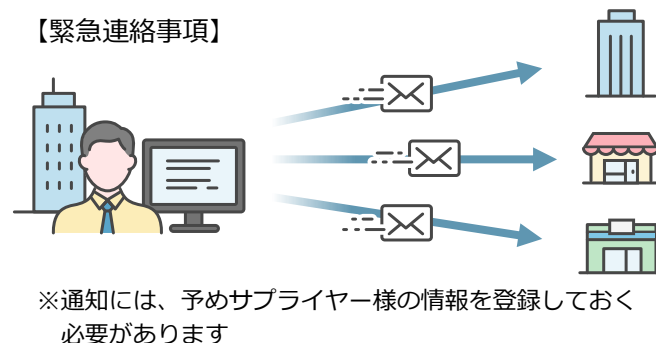
3. 事業を守る

■ リソース・マネジメントとしての初動対応

感染者及び濃厚接触者の業務代行に係る人員の選出（リソース・マネジメント）

■ サプライヤー様への初動対応

緊急事態発生時、サプライヤー様へ緊急連絡（業務停止、再開通知、感染拡大防止）することで、影響を最小限に抑えます。



商品・サービスについてのお問い合わせは

富士通コンタクトライン（総合窓口） 0120-933-200

富士通公開サイト <http://jp.fujitsu.com/>

受付時間 9:00～17:30（土・日・祝日・当社指定の休業日を除く）